

記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財  
石鳩岡神楽・土沢神楽調査委員会（平成29年度第2回） 会議録

1 開催日時

平成30年3月23日（金）午前10時～11時

2 開催場所

花巻市石鳥谷総合支所 委員会室

3 出席者

(1) 委員 5名

中村良幸委員長（花巻市文化財保護審議会委員）

中嶋奈津子副委員長（佛教大学非常勤講師）

菊池康一氏（菊池憲文委員（早池峰岳流石鳩岡神楽保存会長）代理）

吉田隆一氏（晴山潔委員（早池峰大償流土沢山伏神楽保存会長）代理）

小原克仁委員（花巻市博物館主任主査兼学芸係長）

（欠席 川向富貴子委員）

(2) オブザーバー

日向磨机子岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課主査

(3) 事務局（花巻市教育員会教育部文化財課） 4名

酒井宗孝文化財課長

村田豊隆文化財課長補佐

大内典子主任主査兼文化財係長

岡本雅子上席主任

4 議題

協議 平成30年度調査事業について

---

会 議 録

---

1 開会

2 挨拶

酒井課長：本日はお忙しいところ出席していただき感謝申し上げます。前回、文化庁の吉田調査官に出席していただき会議を行ったが、その際、調査の充実をとの助言を

いただき、また国庫補助については県教委のご助力をいただき、採択いただける方向で審査が進んでおり感謝申し上げます。今回の会議では、平成30年度の調査方針についてご協議いただきたい。

村田補佐：(本日出席委員の確認)

### 3 協議

(委員長挨拶)

中村良幸委員長：本年度2回目の会議となる。来年度から国庫補助金を用いての本格的な調査活動に入る予定であり、その打ち合わせとなるので、委員の皆様のご協力をお願いします。

(協議)

村田補佐から、平成30年度調査事業について、資料に沿って説明。

中村委員長：当初、映像記録を残すということで始まったわけであるが、文化庁の助言もあり、先行して報告書を作成することで今に至っている。

現在進めているのは、会議資料の8・9ページの部分。実施済みの部分、未実施の部分等あり、まだ調査が終わっていない部分がある状況。来年度は、調査中・調査未実施を重点的に行いたい。委員だけでは手が回らないので、神楽保存会の方にも協力していただきたいと考えている。まず各神楽団体から年間の神楽公演計画を教えていただきたい。また、系図を作成したいので、わかる範囲で良いので、まとめていただき情報提供してほしい。各行事には各委員で手分けして取材や資料写真撮影に伺いたい。

また、現在神楽を伝承している若い方への聞き取りもしたいと思う。神楽を伝承されてきた高齢の方への聞き取りは進めてきているので、若い方への聞き取りをし、どのように考えて神楽を伝承しているのか調べてみたい。

できれば、委員以外に協力員をお願いし、写真撮影や調査協力してもらいたい方が数名いるので、そういう方へ協力を依頼できるようにしていただきたい。

中嶋委員はいかがか。

中嶋委員：大償神楽にかかわりを持つ神楽について、まだ調査しきれっていない部分がある。この春までに進めたいと考えている。石鳩岡神楽についていままで調査してきた内容の再確認がまだできていないので、その辺を終わらせたい。どちらも年間行事が多いため、なかなか調査しきれないので、協力していただける方が必要と思われる。

中村委員長：小原委員はいかがか。

小原委員：各神楽保存会では、現在年間何回程度神楽の公演会を行っているのか。

菊池康一氏：石鳩岡神楽では、大別すると何演目か公演するものと、権現舞と祈祷舞しか舞わないものもある。合計50回程度。うち数演目公演するものは10～15回程度。

吉田隆一氏：土沢神楽は、年間30～40回くらいか。ほかに10数回程度神社での神楽を舞う機会がある。

小原委員：土日や祝祭日が多いのか。

吉田隆一氏：それもあるが、平日に行く場合もあり、一概には言えない。

中村委員長：伺っただけでも公演回数があるので、委員だけでは調査しきれないと思われる。手分けしていける範囲で対応するしかない。演目の写真という項目もあり、普段演じない演目もあると思われるので、全部を撮影するのは難しい。過去に撮影した写真を含め、神楽保存会の方にも協力していただき、集めればいくらかでも多く演目の写真は集まるかとも思う。そこに年間活動写真を収めていけば、項目としては成り立つのではないか。

会議資料10ページの部分にある、伝承者リスト、後援会の構成については、保存会・後援会の方から聴き取れば良いかと思う。弟子神楽の関連調査と年間行事等については、各委員が手分けして対応することになるだろう。弟子神楽に関連し、師匠である岳・大償神楽の方からも聞き取り調査したいと考えています。少しずつ進めていますが、どうしても岳・大償神楽双方も高齢の伝承者は少なくなっているため、なかなか難しいのが実情。

各神楽保存会の方へお願いになるが、それぞれ映像を残されているかと思うが、どの程度あるのか教えてほしい。VHSや8ミリなど残っているのであれば、媒体を変換して資料化していきたい。リスト化して教えていただきたい。この調査で映像資料を変換（デジタル化）する予算も見てくれると思うので、ぜひとも協力していただきたい。これは、のちに映像化作業になった際に差し込み等で使用できることも考えられる。

中村委員長：石鳩岡神楽で、神楽の古い話を一生懸命される方がおられたと思うが、その方の話を採録していたほうがいいのかとも考えている。面白い話をされていたと記憶している。

菊池康一氏：そのとおり。

中村委員長：土沢神楽の方はいかがか。

吉田隆一氏：土沢神楽では、昔の神楽について知っている高齢の方は少なくなっているので、難しいと思う。

中村委員長：先般、土沢神楽を調査させてもらった際に、芝居の台本があった。解説したが、あれを実際知っている方はいるのだろうか。

吉田隆一氏：もういないと思われる。

中村委員長：神楽関係者ではないかもしれないが、（土沢神楽の芝居を）見たことのあるような方はいないだろうか。

吉田隆一氏：そういう方も、もういないでしょう。当時歌舞伎なども流行っていて、神楽とともに芝居をやるようになったのだろうが、それを見たことがある人も、神楽衆で覚えている人も、すでにいない。

中村委員長：演劇性のあるお話しで、非常に面白い本である。神楽とともに芝居も演じていたところはなかなかないので、一つの特徴的な内容で、興味深いところ。

吉田隆一氏：たくさんのお客を呼び込むために（芝居を）やったのではないかと考えている。

中村委員長：北海道に渡った神楽衆のなかでも、神楽を演じることができなくなった際に、狂言を編集して芝居にして演じていることがあり、そうする利点もあったと考えられる。これは、そんなに長くやっていたことではなかったことのようにだが。これは、土沢神楽のひとつの特徴といえるものなので、ぜひ報告書へ取り上げたい。

中村委員長：平成30年度は、主に年間行事を通して調査すること（基本的な部分を抽出して）、聞き取り調査の補足、神楽を伝承している若い方たちへの聞き取り調査、師匠である岳・大償神楽の聞き取り調査、弟子神楽の補足調査を2年間かけて行い、報告書にまとめる方向性で進めたい。やはり、情報がないと調査に動けないので、各神楽保存会には現在予定が組まれ、わかっている神楽公演についての情報を事務局へお知らせいただき、事務局から各委員へ連絡してもらい対応したいと考えています。協力をよろしくお願いいたします。

村田補佐：調査委員会を立ち上げた当初、各神楽保存会へ年間の公演実績について伺った経過があり、それをもとに今年度の情報を伺い、各委員へお知らせできればと考えています。各神楽保存会の方にはご協力をお願いいたします。

中村委員長：できれば、時間（開始時間）も情報として教えていただきたい。

中嶋委員：飛び入りで入る神楽の話もあるかと思うので、その辺も密に事務局へお知らせしていただければ、事務局から各委員へ情報提供され、調査に行くことができると思うので、その辺柔軟に対応していただきたい。

中嶋委員：石鳩岡神楽で神楽の古い話をご存知の方がいたと思うが、その方が古い神楽の本を2冊お持ちと伺い、1冊は調査させていただくことができているが、もう1冊についても、調査させていただきたいので、ご協力をお願いしたい。また、

神楽宿のような古くからあるお家が決まっているのであれば、その家の方からお話を伺いたいのので、ご紹介をしてもらいたい。

吉田隆一氏：土沢神楽では、そのような家はないと思う。春の祭りの際には、土沢の町場の商店の軒先で神楽をすることがあった。そのお店はその都度頼んでいるので固定ではない。前は決まったお店でやることもあったが、時代の流れで、そのような商店もなくなってしまった。

中村委員長：今まで以上に、各神楽保存会の方へ伺うことになるので、ご協力をよろしく願いたい。

小原委員：各神楽保存会に、日を決めて委員の立場で、この演目を演じてもらうような調査もあればいいのかと思います。

中村委員長：それについては、映像記録を作成する際に持ち越そうかと考えていた。練習しないとすぐにはできない神楽の演目もあるかと思うので、これについては、やはり映像記録を作成する際に、十分選択して対応するほうが良いと思う。これは、なかなか難しいこと。岳・大償神楽の映像を撮影した際にも、うまくいかなかったところ。希望としてはやってほしいところだが、神楽保存会の方の人出の手配にもかかってくることなので、難しいところ。

小原委員：(今までやれなかった) 新たな演目に取り組んでいることはあるか。

菊池康一氏：特にはない。一年に一つぐらいは、いままでやってこなかった演目について取り組みたいと考えているが、なかなかできない。練習に時間を取られるので、難しい点が多い。

中村委員長：土沢神楽では、いかがか。

吉田隆一氏：なるべくやりたいとは思っているが、10年以上もやっていないと、若い方が見たこともない演目もあり、なかなか練習が進まない現実問題がある。

中嶋委員：各神楽保存会で、どういう演目でどういう衣装を身に着け、どのような採りものを持ち、神楽を舞うか、その際の衣装や採りものの名称に、神楽ごとに変化が見られることもあり、その辺を調査したい。

中村委員長：写真で示さないと、答えていただくことが難しいと思うので、それらの写真を持って、または登場人物を指定して、各神楽保存会の方に聞いたほうが良いと思われる。

吉田隆一氏：土沢神楽の面とか調査されたと思うが、古いものはまだお見せしていなかったように思う。

中村委員長：古いものはまだ見ていないものがある。ぜひ調査させていただきたい。会議資料8・9ページの項目・衣装と道具について、調査が終了したように記載されているが、まだ調査しきれていない部分があるので、これは調査継続の表記

に修正願う。

中村委員長：まだまだやることが多いが、できる限り調査していきたい。県教委の日向様にも、ご意見ご要望がありましたら、この場でお話をいただきたい。

日向磨机子氏：前回文化庁の吉田調査官に指摘していただいた内容をもって、調査内容がまとめられているので、このまま調査を進めていただければ良いと思う。

中村委員長：その他、なにかございますか。

小原委員：資料4ページの、右側の表の上部の「事業経費」と書かれてあるところの下部で文字が切れて見えなくなっているが、これは何と記載されているか。

村田補佐：印刷がだいぶ切れており、現在手元に元資料を持参していないので、後程確認してお知らせする。

(⇒後日元データを確認したところ、「補助額」と記載されており、同表に表示されているものと重複している内容のもので、不要な表示)

中村委員長：何度も申し上げているが、次年度にはある程度目途がつくように調査したいと思う。各神楽保存会の方の協力が必要なので、よろしく願いしたい。事務局の方にも、同様のことを願います。以上。

#### 4 その他

村田補佐：当委員会の任期が平成30年3月末日で終了することになっているが、報告書作成や映像記録までまだ時間を要することから、任期を延長し、当委員会を引き続き設置したいと考えている。委員の皆様には、引き続き委員を引き受けていただき、進めてまいりたいと考えており、何卒ご協力をお願いしたい。各神楽保存会には、4月以降委員として菊池康一氏、吉田隆一氏にお引き受けいただきたいと考えている。今後ともよろしくお願い申し上げる。

#### 5 閉 会